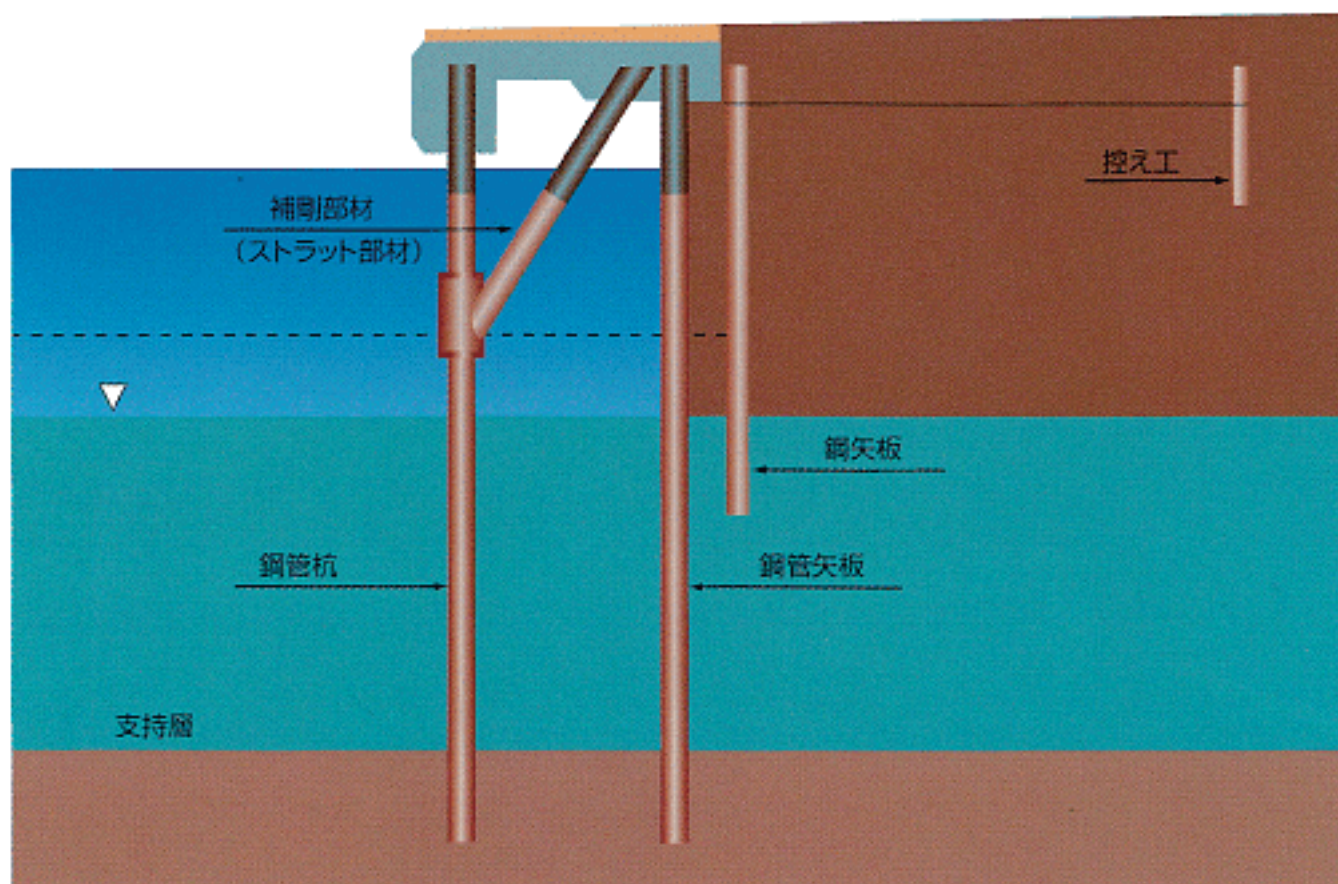


Ⅰ 省スペース

控え工が不要であり、背面の施工スペースに制約がある場合などにも適用可能です。
補剛部材は現地で架設するため、大きな施工機械は不要です。

- ・控え工が不要
- ・使用部材の小断面化による施工機械の小型化
- ・既存岸壁の改修工事に適した工法



格点式ストラット工法